

令和3年度第2回地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業事業者
選考委員会議事録

1 日時 令和3年12月8日（水）13：15～15：00

2 場所 はぐくみかん会議室4

3 出席委員 坂梨 薫 （関東学院大学看護学部母性看護学教授）
宮田 丈乃 （横須賀市保育会会長）
新倉 良是 （社会福祉法人横須賀乳幼児保護会副理事長
株式会社ユーカリ代表取締役）
吉田 尚子 （主任児童委員連絡会代表）
志村 恭一 （横須賀市民生局こども育成部長）

4 事務局 横須賀市民生局保育課 岸課長、上野係長、芦澤主任
横須賀市民生局育成総務課 深井係長

5 傍聴者 0名

6 議事内容 （1）2次選考の評価基準・評価点表及び合格基準について
（2）応募法人からのプレゼンテーション
（3）応募法人との質疑応答
（4）採点・審議

7 委員から法人への質疑応答

（委員）職員の確保策について。現法人にも声をかけ面接等を実施し職員を確保していくのか？

（回答）現事業者にもアプローチし開所に向け職員を確保していきたい。

（委員）職員の配置について教えていただきたい。

（回答）地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業ともにそれぞれ常勤1名と非常勤を合わせ2名出勤させる。一時預かり児の予約が多い時には2名以上で対応したい。

（委員）一時預かり児の受け入れ定員は何名なのか？

（回答）現地保育室を見てからの判断になるが、配置基準や配慮が必要なお子様の状況も見極めながら、おおむね10名以内で運営していきたい。

(委員) 資料に記載のある「新しい価値のデザイン」とはどのようなことなのか具体的に説明いただきたい。

(回答) 子育て施設の複合化。一つの施設の中に保育施設や学童施設を同じ施設で運営することによって、学童期の子どもと未就学児の交流が生まれ、お互いに良い相乗効果が生まれることが期待できる。

(委員) 保育の質向上のための研修についてどう考えているか。

(回答) 神奈川県主催の子育て支援員研修や、社内の人材開発研修を積極的に受講してもらおう。スタッフ間でも各種研修の情報共有をしていく。

(委員) 資料に掲載されているスタッフマニュアルについて一本化されているようだが、地域性も考慮して作成しているか。また固定のスタッフが常駐しているのか。

(回答) 利用者にとっても、顔見知りのスタッフがいたほうが安心して利用できると考える。正規雇用のアドバイザーを中心に固定メンバーでシフトを組んでいきたい。

(委員) 資料によると各種講座を実施する予定のようだが、父親参加できるものはあるのか？

(回答) ベビーマッサージやベビーダンスなどの講座は父母をターゲットに考えているので、ぜひ参加していただきたい。また父親向けの講座は土日に実施することにより、平日開催より参加しやすいのではないかと考える。

(委員) 資料にあるギフト式脳育手遊びとは？

(回答) 脳育の観点から手遊びに対義語を取り入れたり、太鼓や手作り玩具などを用いて、楽しみながら五感を使い脳育をしていく遊び。

(委員) 当園でも積極的に取り入れている。0、1歳児から行くと反応が良い。できるだけ小さい時期から取り入れていただきたい。

(委員) 複合施設に入ることになると思うが、すくすくかん内の他施設との連携をしっかりとる体制作りをしていただきたい。